

医政メモQ&A

消費税の損税について

Q : 損税と日医の主張であるゼロ税率、還付方式について簡略に説明されたい。

A 1 : 免税と非課税。はじめに平成元年4月より間接税としての消費税3%が実施され、他の先進諸国(OECD24カ国)と同様に医療は教育や出産とともに非課税扱いとなりました。輸出のみは他国の人々が消費者となりますので消費税の対象とはなり難く、売上げにかかる消費税は免除され、仕入れにかかる消費税も控除され、どの国でも免税(ゼロ税率適用取引)となっていますが、非課税の場合は仕入れにかかる消費税は控除されず、ここが免税とは異なっております。

A 2 : 消費税と付加価値税。OECD24カ国で幅広く税の主役として受入られている間接税の付加価値税(インボイス方式)は各取引段階で生産者から消費者までが取引額に応じて平等に税を負担する誠に公平で透明性のある、最終消費者の負担もわが国に比べて $\frac{1}{4}$ ~ $\frac{1}{2}$ という消費者の権利を尊重した優れた間接税として知られていますが、一方わが国の消費税(アカウント方式)は生産者・流通業者が全く税を負担せずに形の上では納税するが、それらを価格に上乗せし最終消費者にすべてを負担させるという、他の先進国ではみることの無い不公平で消費者無視の間接税と酷評されています。

A 3 : 小規模零細事業者と免税事業者。さらには小規模零細事業者に対する除外においても各国では浅く広くという間接税の目的に沿って例外を極力少くするため年間課税売上げを400万~500万と低めの水準にしていますが、わが国では3000万円以下を免税

事業者として保護し、他国より消費者を軽視する政策をとっています。

A 4 : 損税と益税。わが国の間接税の歪みのために医療は非課税でありながら損税という問題が生じました。図のようなモデルをあけて説明しますと、年間の収益(売上げ)が1億円の内科・小児科の医院・診療所を考えると、差額ベッド代、健康診断、老人医療手数料らの課税売上げは年500万円程で、残りの9500万円は非課税の診療報酬分というのが標準的です。消費税実施前には2300万円の利益がありましたが、実施後は2262万8千円で37万2千円の減収となります。500万円の課税売上げは患者より3%15万円徴収増、診療報酬分(非課税売上げ)は改定による0.84%79万8千円増収となりますが、費用(支出)においては薬剤・材料費らの課税仕入れ4400万円に仕入れ消費税3%分132万円が価格内に上乗せされ4532万円と高く購入されている。正確には0.84%、79万8千円は非課税(医療)、3%15万円は課税(売上げ消費税)、しかし仕入れ税額控除(一括比例配分方式)132万円の5%分6万6千円があるので、本来支払うべき消費税は15万から6万6千円の差額8万4千円となりますが、課税売上げ3000万円以下は除外(支払い免除=免税事業者)されるので、この8万4千円は国に払われず、手元に残りますので益税と言われます。実際には132万円の仕入れ消費税分も含む高い薬品・材料費等を購入していますので132万円-8万4千円=123万6千円が損税として医師側が負担しているわけです。100床クラスの病院となると益税もなく、ひとけた違いの消費税を負担していると推測されます。

A5：ゼロ税率・還付方式と軽減税率。医療も非課税でなく、輸出のように免税（ゼロ税率適用取引）にして仕入れ消費税も控除あるいは還付してもらおうと日医は第一に主張しております。次善の策として軽減税率、第3に診療報酬の枠内で損税の解消をめざしています。先進諸国では非課税でも損税は制度上おこりえません。軽減税率も

仏や英国で薬品などに行われていますが、すべて付加価値税でなければ実施し難いと考えられています。損税の解消は中期的には政治の場、ロビー活動など通して消費税の矛盾を明らかにしつつ改革を求め、短期的には中医協の場で診療報酬の改定において損害を最小限にするよう努力すべきでありましょう。（医政部担当理事 山本 直也）

例 内科・小児科医院のケース

		実施前	実施後（単位：千円）
収 益	課税売上	5,000	5,150（3%15万円）
	非課税売上	95,000	95,798（0.84%79万8千円）
	計	100,000	100,948
費 用	課税仕入	44,000	45,320（仕入税132万円）
	非課税仕入 （人件費・慶弔費ら）	33,000	33,000
	計	77,000	78,320
消費税		0	0*（84）
利益		23,000	22,628

* $150 - (1,330 \times \frac{5}{100}) = 84$ （8万4千円）：益税

損税：132万円 - 8万4千円 = 123万6千円



「バラ」 沢口 素子